乳幼児の 歯・口の外傷への対応

口の中の傷は唾液の力が働き、感染せずに出血も止まることが多く、慌てる必要はありません。血液が唾液と一緒になって大量に見えることがあります。口唇は、硬結を起こすと痕になる※ので早めの処置をしましょう。
※唇の傷を放置すると、その部分が硬く盛り上がった状態になることもあります。

歯根が折れても分からないことが多いですが、歯冠に近い部位で歯根が折れると（赤線）動揺が出て痛みも出てきます。エックス線撮影での確認が必要です。神経が死んでいると、しばらくして歯が黒ずんできます。



歯・口の外傷発生

- 口唇・口の中の粘膜の外傷
  - 口の中が切れた
  - 唇が切れた
    - 出血が少ない → 様子を見る
    - 出血が多い → 傷口が大きければ清潔なもので圧迫する
  - 圧迫止血をする
- 歯根破折の疑い
  - 痛みのあるときは早めに歯科医院へ
- 歯の外傷
- 歯の位置異常
- 顎関節の外傷
  - 耳の付け根が痛い・腫れる
  - 冷やして直ちに受診
  - 歯科・整形外科等

動揺
- あり → 歯根破折の疑い
- なし → 歯が欠けた

歯が欠けた
- あり → 歯冠破折
  - 神経が見えていればすぐに歯科医院へ
  - 表面麻酔薬があれば付けて圧接
  - 神経が出ていなければ慌てる必要はありません
  - 大きなかけらは探して持参（できれば「保存液」か「牛乳」に入れて保存）
- なし → 歯冠の亀裂
  - 特に手当ての必要はない
  - 線が入った

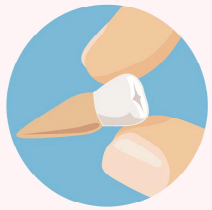


歯の位置異常 → 脱臼 / 陥入 / 下顎骨骨折

脱臼	不完全脱臼	安静にして歯科医院へ
脱臼	完全脱臼	乳歯を探して保存液か牛乳に入れて歯科医院へ
陥入	乳歯が中にめり込んだ	清潔なもので圧迫止血して歯科医院へ
下顎骨骨折	歯並びがずれた、痛みが強い、口が閉まらない	119番通報

激しくぶつかったり外力がかかったりすると、顎に痛みや腫れが出てくることがあります。関節の炎症なので、ひどくなると口が開きにくくなります。まずは冷やしましょう。また、やわらかい食事を摂ります。

抜けた歯の正しい持ち方



抜けた歯は「保存液」か「牛乳」に入れて保存しましょう。



歯の外傷は、最初に位置の異常があるかどうかで重症度を判定します。歯並びが位置異常を起こしているのは骨折の疑いがあるので、救急対応が必要です。脱臼は永久歯と乳歯で対応が異なります。永久歯では再植も可能ですので後処置が大切です。急いで抜けた歯を探して、歯根を持たずに、すぐに「保存液」か「牛乳」に入れて保存します。水道水で洗わないようにしましょう。乾燥すると30分で再植できなくなることが多いです。歯が中にめり込んだ陥入は重症に見えますが、後からまた出てくることが多いので慌てず歯科医院を受診しましょう。痛みが強いときは、止血をしながら冷やしてください。乳歯では、乳歯の下に永久歯の芽があります。再植できるかどうかはエックス線写真で確認しますので、歯根を乾燥させないようにして歯科医院へ急ぎましょう。